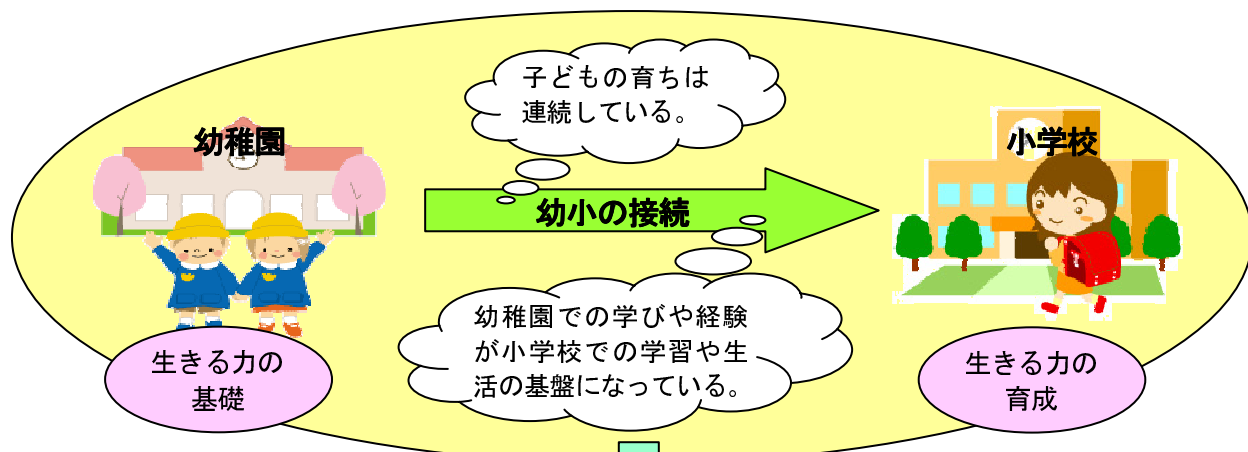


(概要版)

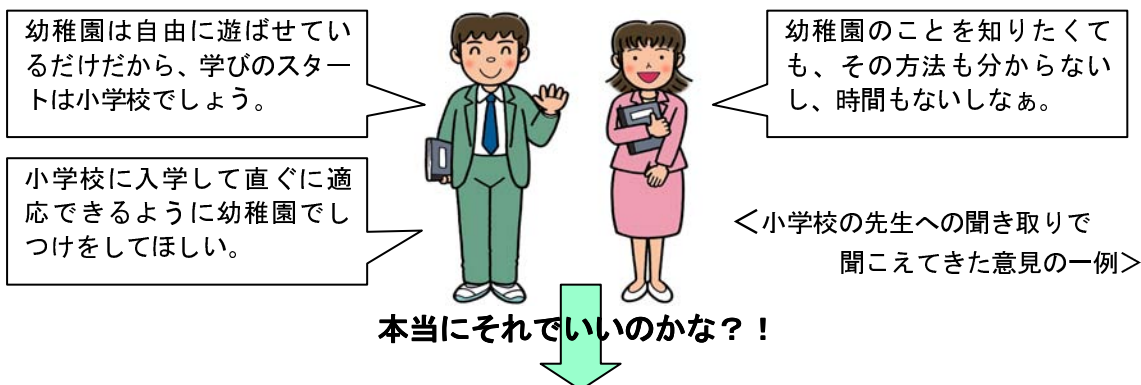
幼稚園教育の理解に焦点を当てた幼小の接続を目指して —小学校教員の視点から幼稚園教育を捉えた資料 「3とくぶっく」の考案とその活用を通して—

長期研修Ⅱ研修員 齊藤 幸子

幼稚園から小学校へ 子どもたちはつながっている！



それなのに



大切なことは、

小学校の先生が幼稚園教育への関心や理解を深めること！

そのためには、

小学校の先生が、幼稚園教育に対する誤解や疑問を解き、幼稚園教育を知ることへの必要感をもつこと！

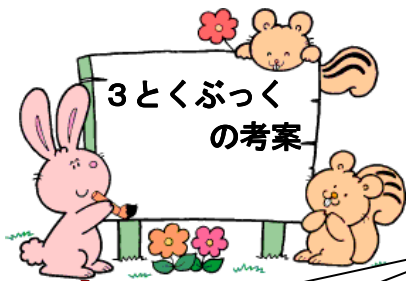
そこで

小学校の先生のための
幼稚園教育を知るヒント集

「3とくぶっく」

を作りました！



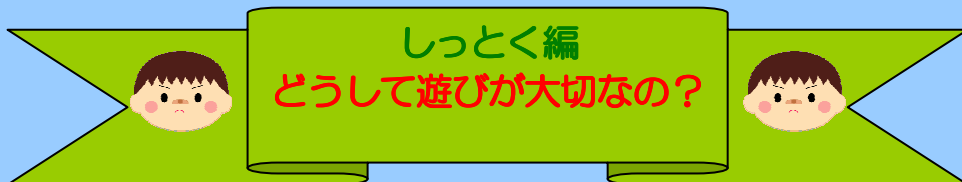


【工夫1】見開き1ページに、実際の幼稚園の様子とそれを補足するようにキャラクターの会話を掲載！

3とくぶっくはこうして誕生しました！

小学校の先生への聞き取りから、小学校の先生が幼稚園教育を理解することの大切さを感じながらも、その方法や時間がないと思っていることが分かりました。そして、小学校の先生が、幼稚園教育を知る機会となり、幼稚園教育への誤解や疑問が解ける資料が必要であると考えました。そこで、小学校の先生に幼稚園教育について分かりやすく伝えるための「3とくぶっく」を考案しました。

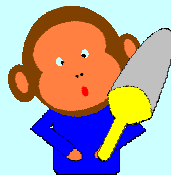
<しっとく編「どうして遊びが大切なの？」の一例>



幼稚園での保育参観より —砂場で遊ぶ5歳児—
遊びの中で考え、試行錯誤していました！



- A児：何でここから水が出ちゃうんだろう。
B児：ここがうまくつながっていないからだよ。
C児：この砂でかためてみようよ。
D児：水を流すよ。
A児：あれえ～、泥水が出てくるよ。
B児：砂が入っているからだよ。
C児：でも、砂でかためないと水が出ちゃうよ。
A児：砂じゃなくて、砂に水をまぜたらどうだろう。
B児：そうだよ。水をまぜて、泥にすればいいんだよ。
C児：そうか。泥にすればいいんだね。
D児：ぼく、水、持ってくるよ。
C児：ぼくも。
D児：じゃあ、お願い。ぼく、これ、押さえているよ。
A児：じゃあ、次はAの番ね。
B児：泥でつないでみるよ。



雨樋や塩ビ管をつなぎ、水を流そうとしている子どもたち。みんなで意見を出し合い、水がもれないように試行錯誤していました。自分たちの課題を自分たちの力で解決しようとする子どもたちの姿に遊びを通して学ぶことの深さを知りました。

例えば

「幼稚園は自由に遊ばせているだけだから、学びのスタートは小学校」と考えていませんか。「しっとく編」P3「どうして遊びが大切なの？」を読んでみてください。友達と試行錯誤しながら遊ぶ幼児たち。遊びの中にはたくさんの学びがあります。幼児たちの姿から、遊びを通して教育する幼稚園教育を知っていただきたいと思えます。

3とくぶっくの内容



小学校の先生への聞き取りから明らかになった幼稚園教育への考えを基にし、内容を「しっとく」「なっとく」「おとく」の3つの「得」で構成しました。

【工夫2】 実態に応じて活用できるように「しっとく」「なっとく」「おとく」の3編から構成！

- ☆しっとく編 幼稚園教育を知る上で基本となる内容
- ☆なっとく編 小学校の先生の幼稚園教育に対する誤解や疑問を解く内容
- ☆おとく編 小学校の指導につながるような授業などの具体例

＜なっとく編「主体的に話を聞くために」の一例＞

みんなが話の当事者です！ —ある小学校の先生の会話から—

①

お背中ピン、お口はチャック、手はお膝。今、先生がお話をしています。話を聞く時は、話をしている人の方をしっかりと見るのですよ。

②

クマ太郎先生、私たち小学校教員は、話をしている人の方を見ているとしっかり話を聞いていると考えますよね。では、しっかり話を聞くとはどんなことなのでしょう？

③

やはり、まず正しい姿勢が大切ではないでしょうか。

私もそう思っていました。でも、姿勢がよくても聞いていないってことはありませんか。子どもは「自分に関係ある話」と感じた時、話に心を傾けることに気がきました。

④

ほう。子どもが「自分に関係ある話」と感じるためにどんな工夫をしているのですか？

今まで私は話をしている途中で発言する子がいると「今は聞く時間」と注意していました。でも、話に関心があるから反応しているのだと分か

⑤

幼稚園では、子どもの思いを上手に取り入れながら、大切な話を子どもたちに伝えていました。子どもたちが話の当事者になっているので、話を忘れてしまう子は少ないそうです。

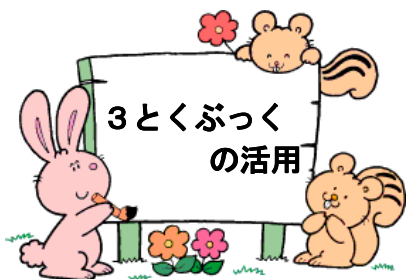
⑥

まずは、子ども自身が話を聞くのはいいものだと感じる事が大切なんです。

そして、発達に応じて話を気持ちよく聞くためのルールを子どもと一緒に考えていくことが大切なんです。

例えば

「小学校に入学して直ぐに適應できるように幼稚園でしつけをしてほしい」と考えていませんか。「なっとく編」P.12「主体的に話を聞くために！」を読んでみてください。幼稚園が小学校の前倒しの教育をやるどころではないこと、そして幼稚園教育で大切にしていることを知っていただきたいと思います。



3とくぶっくにはこんな活用方法があります！

「3とくぶっく」の活用方法として、校内研修「幼稚園教育を知るための研修」と「保育参観に向けての研修」を考えました。また、「保育参観」や「幼稚園教員との意見交換」でも活用していただけます。

＜「3とくぶっく」を活用した校内研修例＞

幼稚園教育を知るための研修

＜時間＞ 60分

＜ねらい＞ 幼稚園教育を知る機会となり、幼稚園教育への関心を高め、理解を深める。

＜方法＞ P16の事例から、子どもの捉え方や指導方法について意見交換する。また、同じ事例に対する幼稚園教員の意見や援助方法について意見交換し、小学校教員と幼稚園教育の共通性から、幼稚園教育を理解することが指導の充実につながることに気付けるようにする。



例えば

「幼稚園教育を知る方法や時間が無い」と考えていませんか。
ぜひ「3とくぶっく」を校内研修などで活用してみてください。短時間で、幼稚園教育への関心を高め、理解を深めることができます。と思います。

校内研修に参加した先生方の感想



校内研修に参加した先生方全員が「幼稚園教育を理解することは大切」と回答しています。

事例がたくさんあって、それを基に考えを深めるくまさんとうさぎさんの会話が、分かりやすい。

読みやすく、読んで幼稚園のことを知ることができる。

事例から意見交換することで、他の先生の意見が聞けてよかった。



今まで幼稚園教育についてきちんと知る機会がなかったのだから、へん勉強になった。

これからも定期的に幼稚園教育の理解を深める研修が必要だと思う。

幼小の連携を図ることで指導の充実が図れると知った。

「3とくぶっく」は、こんな資料です！

小学校教員が、同じ小学校の先生の幼稚園教育に対する本音を基に、保育参観を通して分かったことをまとめた資料

「しとく」「なとく」「おとく」の3編から構成され、資料を使う場面に応じて活用できる資料

一人で読んでもよいが、学年会や校内研修などでも活用できる資料

使い方はいろいろ！

幼稚園の先生との情報交換や保育参観、児童と幼児の交流会など様々な場面で活用していただけます！

問い合わせ先



群馬県総合教育センター

担当係：幼児教育センター 0270-26-9221 (直通)